

---

**E N D**

あひる亭桃羽

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

END

### 【NZマーク】

N1-895G

### 【作者名】

あひる亭桃羽

### 【あらすじ】

最後までよなうが言えなかつた一人の男の、本氣だつた恋の、  
終わりのお話。

昨日と今日の境界線で、携帯電話が鳴った。

彼女からの電話だ。

陽気に電話に出た俺と、沈んだ彼女の声。

一瞬で悟った。

「ああ、終わった」と。

突然だった。

これ以上ないくらいに。

五年の歳月は、たった数分の電話で幕を閉じた。

呆気ないくらいに。

素つ氣ないくらじに。

味気ないくらじに。

昨日までの景色が、セピア色に変わった。

最後まで、さよならは言えなかつた。

言えないまま、電話は切れた。

揃いのリングを薬指から外した。

薬指が、異様に軽い。

一時も外さなかつた、彼女からもらつたペンダントをはずした。

首が、異様に軽い。

「ハートに空洞ができたようだ。」なんて、最初に例えた人は天才だね。

まさにその気持ち。

ハートに空洞ができたようだ。

言葉が  
出ない。

涙も  
出ない。

こんなに好きなのに。  
こんなに好きなのに。  
こんなに好きなのに。  
こんなに好きなのに。

「愛情が情に変わった」と、あなたが言つた。

痛かつた。

とても、痛かつた。

エグられるように、突き刺さつた。

悲しい。

寂しい。

なのに、泣けない。

なのに、涙は出ない。

夢に、見るだらう。

現に、見るだらう。

握り締めた携帯電話の軋む音。

まるで、俺のハートが軋む音。

ハッピーエンドは幻だった。

悲しい幻だった。

夢？

これは夢…なのか？

それとも、今までが夢だったのか？

エンドロールもなにもない。

二人の物語は、

そつと始まって、

人知れず幕を閉じた。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n1895g/>

---

E N D

2011年1月25日02時34分発行